

講師派遣料

- ✓ 看護師1人派遣の場合
2時間までの場合 : 5,000円
2時間以上の場合 : 5,000円 + 2,000円/1時間延長毎
- ✓ 次の各号に掲げる事由が生じたときは、当該各号に掲げる金額を別途追加する。
 - (1) 依頼元及び依頼先の施設間の直線距離が15kmを超える場合
交通費相当額として 一律2,000円
 - (2) 講師が移動する際、高速道路等有料道路を使用した場合
有料道路料金実費
- ✓ 認定・専門看護師もしくは管理者研修の分野と異なる内容で依頼があった場合、講師派遣料は約款第8条の通り、協議となりますのでご承知おきください。

お申し込み方法

- ✓ 申込書に記載のうえ、下記FAX番号またはメールアドレスへ**研修実施予定日1ヶ月前まで**にお送りください。
- ✓ 申込書がお手元がない場合は、下記の尾三会事務局まで電話またはメールでご連絡ください。
- ✓ 研修会終了後に参加者人数等をご報告ください。(所定フォーマットあり)

研修プログラムに関するご連絡先

地域医療連携推進法人 尾三会事務局

〒470 - 1192

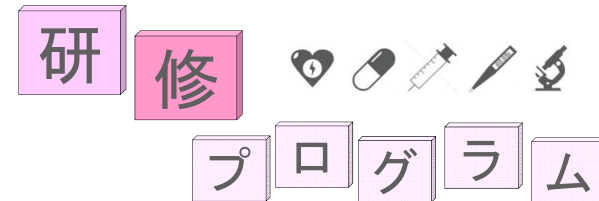
豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

TEL: 0562-93-2212

FAX: 0562-93-6901

mail: jimu@bisankai.or.jp

2019年度版



提供: 藤田医科大学 看護部

人にやさしく、患者さま中心の看護を実践します

尾三会 社員限定 研修プログラムのご案内

豊富な認定看護師

どんなメニューも対応可能

オーダーメイドで研修実施

● 20分野におよぶ認定・専門看護師 ● 分野別の研修内容例

(総勢49人)

研修のタイプ:

座学

症例検討

病棟実践

Q&Aサポート

分野	人数
摂食・嚥下障害看護	7人
感染管理	6人
救急看護	3人
認知症看護	3人
皮膚・排泄ケア	4人
糖尿病看護	1人
緩和ケア	2人
脳卒中リハビリテーション看護	3人
透析看護	1人
慢性心不全看護	2人
がん放射線療法看護	1人
がん化学療法看護	3人
乳がん看護	1人
がん性疼痛看護	2人
集中ケア	2人
手術看護	2人
小児救急看護	2人
新生児集中ケア	2人
慢性疾患看護専門看護師	1人
急性・重症患者看護専門看護師	1人

項目	研修内容(例)
摂食嚥下	口腔ケアや嚥下(食事)に関する知識や貴院の物品/患者様の持ち物を使った実践スキル
感染	標準予防策や感染症知識・疾患別予防策に関する知識やスキルの獲得、担当Nsと一緒に院内感染対策のチェック/改善案の検討
救急 急性/重症	一次/二次救命処置のスキルの獲得や、急変時の対応/評価方法等の知識/スキル 救急カート内容等、院内の急変準備状況のチェックや改善案の検討 急性期/重症患者における重症合併症の早期発見スキルの獲得や基本的な観察ポイント、対応方法
認知症	疾患知識から正しい対応、社会資源活用法等の知識や予防体操の方法等
皮膚・排泄	①ストーマケア: ストーマケアの基本知識や周囲のスキンケア方法まで、知識と実践スキル
	②創傷ケア/スキンケア: 褥瘡予防から対応までの知識、貴院の物品や状況に合わせたスキル
	③失禁ケア: おむつ内の失禁によるトラブル予防策や正しいおむつの使用方法
糖尿病	糖尿病の基礎知識から患者の自己管理に関する指導法やフットケアなど一歩踏み込んだ知識/スキル
緩和	緩和ケアの薬剤や看護が行うべきケアに関する知識を学べます。また癌/非癌を問わず意思決定支援や患者家族のグリーフケア、など終末期に関する幅広い内容
脳卒中	脳卒中の早期発見に必要な危険兆候の知識獲得や、高齢者/ハイリスク患者に対する予防策、回復期/慢性期にも関わる麻痺患者の日常生活支援スキル
透析	透析導入前の生活管理/導入準備から、透析導入後の管理までの知識を学べます。また、腹膜透析の管理/指導の演習や知識
心不全	急性憎悪時の心不全の病態/観察ポイント/ケアと慢性期の日常生活管理ポイント(座学/症例検討中心)
がん放射線	放射線療法の種類や特徴、有害事象発生時の対応などの知識(座学/症例検討中心)
がん化学療法	化学療法の種類や特徴、投与経路の管理などの知識やスタッフの暴露対策など(皮膚障害やリンパケア等以外、座学/症例検討中心)
乳がん	乳癌に焦点を当てて、基礎知識からリンパ浮腫ケアや自壊瘡のケア方法のスキル
がん全般	知識について、がん看護全般について満遍なく取り扱い、急性期から在宅まで、看護が担うべき役割
慢性疾患	慢性疾患の疾患知識や患者/患者家族に対するセルフケア指導方法等
レベル別	管理者研修 働き方、人材育成、リーダーシップ、組織分析、問題解決力、目標管理能力、経営管理能力など

(2019年8月1日現在)



例えば・・・このようなプログラムの組み方が可能です

座学も必要だけど、聞いただけではよく分からない。実際の現場をラウンドし問題点を見て、その場で実践指導して欲しい!

1回(2時間程度)

フォローアップ

座学

+

病棟実践

+

Q&Aサポート

60分間の座学
(講義形式)

60分間
病棟ラウンド

研修後の
アフターフォロー